

# 図書館だより no.252



2025（令和7）年3月21日発行 編集・発行 福島県立図書館  
〒960-8003 福島市森合字西養山1番地  
Tel 024-535-3218 Fax 024-536-4787 <https://www.library.fcs.ed.jp/>



## お知らせ

令和7年4月から美術館・図書館敷地内は禁煙になります。

（敷地内喫煙所は廃止します。）

みなさまが気持ちよく安心して美術館・図書館を利用できるよう、ご理解とご協力をお願いします。



## 敷地内

### ちょびっと美景

公開図書室南側の窓際にある閲覧席エリア。

この席からは、美しい山々を見ることができます。

とくに、冬から春先によく晴れた日に見られる雪を冠した山々の風景は見ものです。

敷地内ではありませんが、図書館の中から見える“美景”の1つです。

読書や勉強の合間のひと時に、ぜひ眺めてみてください。

## 資料の返却はお済みですか？

年度末・新年度の入学・卒業・就職・転勤などに伴う転居時に、これまでお借りになっていた資料の返却漏れや紛失が毎年発生しています。借りていた資料の返却をお忘れないよう、お気を付けください。

※閉館時間後・休館日にご返却の際は、図書館正面玄関横の「返却ポスト」をご利用ください。

※福島県立図書館で借りた資料を、県内の一部の図書館・公民館図書室で返却することも可能です。

（福島市立図書館など、返却できない図書館・室もあります。詳しくは当館ホームページでご確認ください。）

# 新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

## 人文・社会・自然

『言語学クエスト』 ことらボリよ／著  
彩図社 2024.8 804/ト 248

「ゴルゴンゾーラ」という単語を聞いて、強そうだと  
思ったことはありませんか？こちらは、そんなことばの  
不思議をたどるように解説している 1 冊です。32 の問  
いかけで構成されており、それぞれの文末には参考文献  
と読書案内の記載があります。著者による紹介文も併せ  
て記載されているので、ことばの世界の端々まで冒険す  
ることができます。

『Y 字路はなぜ生まれるのか？』 重永 瞬／著  
晶文社 2024.10 291.0173/シ 24X

見慣れたまちでも視点を変えてみると、いたると  
ころに路地があることに気がきます。本書は路地の中  
でも「Y 字路」を取り上げ、定義から魅力、楽しみ方まで  
写真や図を用いてまとめられており、まち歩き初心者で  
も手に取りやすい 1 冊です。通勤・通学の時や、普段歩  
かない方はお散歩でもしながら、いつものまちの新しい  
一面を見つけてみるのも楽しいかもしれません。

『うんこの世界 細菌とわたしたちの深い関係』  
アダム・ハート／著, 増田 隆一／監修・解説,  
梅田 智世／訳 晶文社 2024.10 491.7/ハ 24X

本書はかなり刺激的なタイトルですが、消化器、特に  
腸内にいる細菌を生態系と捉え、その環境や働きを解説  
しています。手を洗うなどの行為はなぜ必要なのかとい  
ったポイントを、根拠となる情報源を示しながら、どの  
程度信用できるのか、なぜ断言できないのかも含め丁寧  
に解説されます。科学エッセイとして面白く、かつ信頼  
できる 1 冊です。

## 児童・児童図書研究

『お仕事さくいん：新時代の IT・ゲーム・デジタルクリエ  
イティブにかかわるお仕事』  
DB ジャパン／編集 DB ジャパン 2024.7 007/デ

子どもに「将来〇〇になりたい」と言われたけど〇〇  
ってなに??? そんな場面で思い出していただきたいの  
が『お仕事さくいん』のシリーズです。この本では様々  
な職業について、その仕事のことを書いてある本や仕事  
の様子を物語で読める本を職業ごとにリスト化してい  
ます。

ほかにも「いのちと健康を守るお仕事」「学びや成長  
にかかわるお仕事」などが刊行済みです。仕事について  
調べたいけど web 検索でも図書館や書店の棚を眺めて  
もうまく本が見つからない時にはこちらのガイドをど  
うぞご活用ください。

## 雑誌・新聞

日増しに春めいてきました。お花見や春の行楽につい  
て特集された雑誌をご紹介します。

『サライ』小学館 Z051/S16 2025.3(第 37 巻第 4  
号, 通巻 719 号, 2025.4)  
特集「和菓子」でお花見」

『和楽』小学館 Z051/W2 2025.3(第 25 巻第 2 号  
No.221, 2025.4・5 月号)  
特集「花の京都で「国宝」三昧！」

『旅の手帖』交通新聞社 Z291/T1 2025.3(第 49  
巻 4 号, 636 号, 2025 年 4 月号)  
特集「圧巻の花名所へ」

『旅行読売』旅行読売出版社 Z689/R1 2025.2(通  
巻 969 号, 2025.4)  
特集「お花見列車」

## 地域

『ふくしまの酒造り 酒を醸し和を醸す』  
福島県立博物館／編 福島県立博物館 2024.9  
L588.5/F14/1

令和 6 年 9 月 21 日から約 2 か月にわたって、企画展  
「ふくしまの酒造り」が福島県立博物館で開催されまし  
た。全国新酒鑑評会金賞を 9 年連続受賞するなど、国内  
でも有数の日本酒の名産地として知られている福島県。  
企画展では県内の酒にまつわる様々な資料や地域の文  
化が展示・紹介され、大盛況となりました。この資料は  
企画展の展示図録として発行され、酒と信仰や酒造りの  
技術と道具、酒造りの歴史等が詳細に記されています。  
福島県の酒造文化を調べるには必携の 1 冊です。

『古文書解読事始め 福島県大熊町の古文書で学ぶくず  
し字入門』大関 真由美／編著, 菅井 優士／編著,  
西村 慎太郎／編著 蕃山房 2024.12  
L210.02/O16/1

双葉郡大熊町の古文書、中野家文書を通して、くずし  
字の基本を学び読み解いていく本です。第一部ではくず  
し字の文法・用語や特徴、大熊町の古文書にあらわれる  
頻出の文字など、古文書解読の基礎について解説されて  
います。第二部では実際の古文書 15 点について、写真  
と翻刻、現代語訳、用語、解説を掲載しています。

中野家文書は、大熊町の文化財レスキュー事業の一環  
として救出作業が行われ、整理が進められてきた古文書  
群です。貴重な資料に向き合い、一字一字読み解くこ  
とを通して、大熊町の歴史や文化を感じることができる  
1 冊です。